～ All for one, One for all. ～

光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 229 号 —
2024 年 11 月 15 日発行

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである。

テサロニケ人への第一の手紙
第五章　一六節～一八節

2024 愛のサウンドフェスティバル　2024.9.21（ひの煉瓦ホール）

巻頭言

寒暖の差が激しく体調を崩しやすい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は地元七生病院理事長であり令和四年六月に東京光の家の理事にご就任された杉山美穂理事から外部寄稿を頂きました。お祖父様の杉山閑男元顧問、お父様の杉山吉昭元理事と親子三代に渡り東京光の家の理事として、また利用者の精神分野で大きな支えとなっており、感謝申し上げます。

そして恒例行事である愛のサウンドフェスティバルとチャリティーバザーも特集しました。大好評のオリジナル新曲「大きなひとつの屋根の下」ミュージックビデオは光の家ホームページの「施設からのお知らせ」欄でご覧いただけます。これからも利用者の「安心と安全と希望～生活には喜びを～」を地域の皆様と共に実現していきます。

（理事長　石渡　健太郎）

東京光の家とのご縁

医療法人社団清愛会 七生病院　理事長
社会福祉法人東京光の家　理事
杉山 美穂

みなさま、こんにちは。東京光の家の理事をさせていただいております杉山です。私は精神科の病院であります七生病院で医師として働いております。七生病院は光の家もあります日野市にあり、光の家から車で五分程度の所にあります。以前から親しくお付き合いをさせていただいており、光の家の利用者さん達も当院に通院されている方がおられます。

光の家と七生病院とのご縁のお話をさせていただくと、私の祖父にまでさかのぼります。

祖父は令和五年二月に九八歳で他界しましたが、長年にわたり七生病院の理事長を務めておりました。一〇年ほど前に父へ理事長職を譲り、隠居生活を送っていました。祖父が若い頃は家業の精米店を営んでおり、当時の七生病院へもお米の配達をしておりました。経営不振で立ち行かなくなっている七生病院を買って欲しいと当時の院長先生から祖父に話があり、祖父は叔父と二人で病院を買い取りました。祖父がこの決断をし、病院を運営しはじめたのが現在の私と同じ四〇歳代です。医療に携わったことのない祖父達が、患者さんのためにと、全国を廻って頭を下げ看護師さんをかき集めたり、資金調達のために田畑を売り急場をしのいだという苦労話を幼い私に何度も話してくれました。その中で、光の家の前理事長である田中亮治先生のお話も何度も繰り返し聞いた記憶があります。

今でこそ『誰一人として取り残されることのない社会』という概念がみなさんに浸透し実現されつつありますが、約五〇年前の当時の社会状況は、障がいをもつ方々への偏見や配慮が行き届かないことが多々あったと。その様な状況の中、同じ日野市内で、目と鼻の先の距離に、同世代で同じような志を持った田中先生がいらしたこと。祖父は大変心強かったと話しておりました。福祉施設と病院という違いはあれ、ご家族から預かっている方々に不自由なく生活していただくために、という想いで田中先生も祖父も苦労をものともせずに走り続けてくださったお陰で、現在の光の家や七生病院があるのだと思うと感慨深く、感謝しかありません。

私が生まれた時に田中先生からお祝いにと、羊の姿をした乗り物の遊具をいただきました。まるいフォルムで、白くてふわふわした毛並みの可愛い羊の大きなぬいぐるみに4つの車輪と持ち手がついており、乗れるようになった遊具です。私のお気に入りのおもちゃで『めぇめぇちゃん』と名付け、よく乗って遊んでいました。成長し、めぇめぇちゃんに乗れなくなっても可愛くて捨てられず、一ヵ所穴が開いてしまいましたが今でも実家に大切に置いております。子供を連れて実家に遊びに行くと、まだ幼稚園児の三男はめぇめぇちゃんに乗って遊んでいます。

光の家の精神科嘱託医として当院から医師が伺っております。以前は私も月に二回、嘱託医として訪問させていただいておりました。いつ伺っても、スタッフのみなさんや利用者さん達は笑顔でご挨拶をしてくださり、心が温かくなります。

微力ではございますが、お役に立てるよう尽力をつくして参ります。これからも宜しくお願いいたします。

第47回

チャリティーバザー

十月十四日（月）　会場：旭が丘東公園

今年度のチャリティーバザーは、五年振りに旭が丘東公園での開催となりました。昨年度までのワーク・プレイセンターでは利用者、外部のお客様を二日間に分けての開催でしたが、今回は、利用者、外部のお客様が一緒に買い物を楽しみ、模擬店を利用する五年前のスタイルに戻しての開催でした。

また、光の家ワーク・プレイセンターは室内での開催であったため、天候の心配もありませんでしたが、今回は公園での開催、天候が一番の心配でした。しかしそんな心配は必要ないくらいの快晴での開催となり、お客様も例年同様に開場前から大行列が出来、たくさんの方に来場していただきました。

今年も地域の方や企業の方々からいただいた提供品を地域の方に買っていただき、SDGsにも繋がる「チャリティーバザー」でした。また、ボランティアの方々にもご協力いただき感謝申し上げます。

おかげさまで五八〇万円を超える売り上げがありました。ご協力ありがとうございました。

おはぎ作ってま～す！

毎年恒例のバザー前の大行列！！

バザー会場全体

就労ホーム作業作品の販売

保護者コーナー

バザーにピース！

令和六年度墓参（田中先生夫妻を偲ぶ会）

令和六年九月十三日（金）

今年も光の家講堂において田中先生夫妻を偲ぶ会が開催され、ご夫妻の遺影が飾られ生前の講話音声を聞きました。その後、東京光の家墓地に代表者が出かけて田中先生夫妻と故人の利用者の皆さんに思いを込めて献花を行いました。

故 田中先生夫妻の写真にお花を手向ける

2024 光バンド
チャリティーコンサート

愛のサウンドフェスティバル

The 東京光の家

～大きなひとつの屋根の下～

2024.9.21 SAT ひの煉瓦ホール［日野市民会館］

光バンド

「愛のサウンドフェスティバル」実施のご報告

The 東京光の家　～大きな一つの屋根の下～

文化活動委員 中河原 達也

去る九月二十一日に愛のサウンドフェスティバルが、ひの煉瓦ホールにて開催されました。今年はタイトルが示すように、光の家利用者・職員全員が一丸となって企画し、応援しました。東京光の家は、創立者秋元梅吉の基本理念「盲人に聖書の福音を」を一〇五年に亘って受け継いできました。聖書の教えは、目が見えなくても、障害があっても神様から与えられた役割があり、それぞれの素晴らしい人生があると言う事です。「感謝と希望」の気持ちを持って生きる事。それを日々の生活や活動の中で具現化している姿が、正に今回のコンサートで、会場に来られた皆様に感じて頂けたのではないでしょうか。第一部では日野市長大坪冬彦様から応援のご祝辞を頂戴し、第二部では日野社会福祉協議会会長鈴木勝豊様に売上金の一部をチャリティー贈呈させていただきました。舞台上では、光バンドを中心に聖歌隊とダンスチームが共演し、社会福祉法人聖愛学舎理事長物井洋介様作詞作曲の新曲「大きなひとつの屋根の下」では、ミュージックビデオから、光の家の利用者・職員が皆で生き生きと活動している姿が映し出され、会場が一体となる温かい雰囲気に心からの感動を覚えました。演奏曲も沢山の利用者の人生を重ね合わせる事の出来る選曲でした。神から与えられた命、生きる事の意味を考え、故郷を思い、自分の人生の思い出を大切にし、恋愛もするし、希望を持って自分の道を歩む。そんな一人一人の生きる姿の尊さを感じるメッセージとなりました。「東京光の家」の原点と今をそのまま表現し、多くのお客様から喜びの感想を頂きました。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

光の家 栄光園
開設五〇年記念二泊旅行

令和六年十月十七日(木)～十九日(土)　岐阜方面

コロナ前に計画されていた岐阜旅行が開設五〇周年記念旅行という形で復活しました。行程はバスで品川駅へ、そこで好きなお弁当を買い、新幹線でお弁当に舌鼓を打っているうちに名古屋駅に着きました。特急ひだに乗り換えて高山駅へ行き、ホテルに着くと時刻は既に夕方の五時半。ホテルでは、美味しい飛騨牛を食べ、クイズやカラオケを楽しみました。二日目は煎餅の手焼き体験をしたり、飛騨牛のすき焼きに飛騨牛の寿司、団子やメンチカツを堪能し、最後にはまつりの屋台（山車）のからくり人形を見学してきました。三日目はバスで富山駅に行き、そこから北陸新幹線で東京駅へと向かい、皆笑顔で無事に帰ってくることができました。とても充実した二泊旅行となりました。

この山車迫力あるねー！

憧れの北陸新幹線に乗ったぞー！

合同自治会夏祭り

令和六年八月二十四日(土)
旭が丘東公園

旭が丘一丁目
（第一自治会　第二自治会　富士見会自治会）

東京光の家に隣接する旭が丘東公園では七月に光の家で行う「ふれあい夏祭り」の他に旭が丘一丁目自治会が開催する夏祭りが八月二十四日の土曜日に行われました。

「旭が丘一丁目第一自治会」「旭が丘一丁目第二自治会」「富士見会自治会」の三つの自治会が合同で行い昨年から始まり今年で二年目の開催となりました。光の家も会場設営やテント、テーブルなどの準備を行い全面的に協力させて頂きました。ゲーム、ヒーローショーや花火など盛り沢山の企画で多くの方が楽しんでいました。模擬店ではキッチンカーでケバブの販売も行い大盛況となりました。光の家でもピザやラスクのつかみ取りやバザー販売を行い多くの方にご利用して頂きました。多くの利用者も参加して、地域との交流を楽しむことができました。

バスターフラッシュのヒーローショー

合同自治会夏祭りの東京光の家

合同自治会夏祭りの様子

全国社会福祉協議会
第八回アジア社会福祉セミナー＆国際福祉展示会

令和六年十月三日（木）・四日（金）
於：東京ビックサイト・ロフォス湘南

アジア社会福祉従事者研修は、アジアの民間社会福祉従事者の育成とアジアの福祉ネットワークづくりを目的として、全国社会福祉協議会が主催となり実施されてきました。本年は四十一年目を迎え、今まで本研修に参加された、アジア各国（韓国・台湾・フィリピン・タイ・マレーシア・スリランカ・インドネシア・バングラディッシュ）の方々を再び日本に招聘し、社会福祉の情報交換と現状の課題について相互理解を深めました。東京光の家もアジアの研修生を以前から受け入れており、かつて来園された方々と久しぶりにお会いすることができました。

アジア各国の状況報告が行われた際には、各国ならではの問題や日本と同様の課題もあることを知ることができました。

全社協としては今後、各国それぞれの研修生の関心事や目的に対応した研修内容を行い、研修生同士の継続的な交流で長年にわたって築かれたアジア各国の福祉ネットワークを維持していきたいとのことでした。

国は違っても同じ社会福祉事業に従事している仲間として、共有・交流が持て素晴らしい刺激をいただけた時間でした。

国際交流セミナー第１日目（東京ビックサイト）

国際交流セミナー第２日目（ロフォス湘南）

スリランカの皆さん

韓国の皆さん

台湾の皆さん

福祉展示会（LED 野菜と花）

寄付者名簿

令和六年七月三十日～令和六年十月二十二日

小薗江 春江 様　お米　八五 kg
　　さつまいも　五七 kg
佐藤 しげ井 様　枝豆　五 kg
米倉 清治 様　お米　二七 kg
（株）リード・リアルエステート 様
　お米五 kg／そうめん二袋／うどん二袋／麦茶二袋／うどんつゆ三袋／味付け海苔一個／クリネックス一パック／スコッティ（六ロール）一パック
佐藤農園 様　メロン　五玉
井川 幸雄 様　梨　八四個
宮洞 真 様　梨　二八個
中村 修士 様　お米　一五 kg
　　さつまいも（紅はるか）一〇 kg
秋山 妙子 様　フルーツゼリー　六〇個

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

オータムコンサート♪ in 東京光の家

令和六年九月二十九日(日)

今回東京日野ロータリークラブより奉仕活動としてのコンサートを、東京光の家の講堂で開催して頂きました。

日本屈指の出演者が光の家に来園され、利用者の目の前で迫力ある演奏を聴かせて頂きました。光の家の利用者、職員にとって、すばらしい秋のひと時になりました。

利用者と一緒に！

迫力のオペラ!!

演者の皆さん

日野ロータリーの皆さんと

光バンド演奏活動 第五回チャリティー音楽祭 スーパーライブ2024に参加

令和六年九月十四日(土) 於：千葉市美浜文化ホール

毎年参加させて頂いているスーパーライブに今年も光バンドが参加致しました。これは全国各地から集まった盲目のアーティスト中心に二〇組が集まり行われる音楽イベントです。

ボーカル：長井さん　キーボード：井澤さん、中西さん

今年は、前売り券が完売するほどの盛況で、当日は多くの観客が会場に足を運んでくださいました。光バンドは谷村新司さんから頂いた『今を生きて』を含む三曲を演奏しました。

ボーカル：髙橋正秋さん

発行
〒一九一―〇〇六五
東京都日野市旭が丘一―一七―一七
社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八一)二三四〇
FAX 〇四二(五八一)九五六八